

Event Guide

イベントガイド第3号

本紙では、地球一周の船旅がより充実したものとなるよう、おすすめの船内企画や旅に関するコラムの掲載や、乗船者の皆さまを紹介します。日々の船内生活にお役立てください。

この号では5月25日から6月18日までの情報についてお伝えします。

- 5月26日 クルージングパーティー
- 5月28日 自主企画 中間発表会
- 5月30日 卓球大会
- 5月31日 端午節
- 6月2日 洋上夏祭り
- 6月5日 テネリフェ島(カナリヤ諸島)
- 6月8日 ポルト
- 6月11日 ル・アーブル
- 6月12日 ゼーブルージュ
- 6月14日 ハンブルク
- 6月16日～17日 リーセフィヨルド遊覧・ベルゲン
- 6月18日 ソグネフィヨルド遊覧

イベント紹介

●5月28日 自主企画中間発表会

クルーズが始まって約1か月が経ちました。参加者の皆さまが自ら企画を立ち上げておこなう「自主企画」の成果を披露していただきます。

●6月2日 洋上夏祭り

船上ならではの『洋上夏祭り』を開催します。12階中央リビエラデッキが夏祭り会場に変わり、夏祭りならではの食事や楽しい催し物をご用意しております。お持ちの方は浴衣でのご来場をおすすめします。

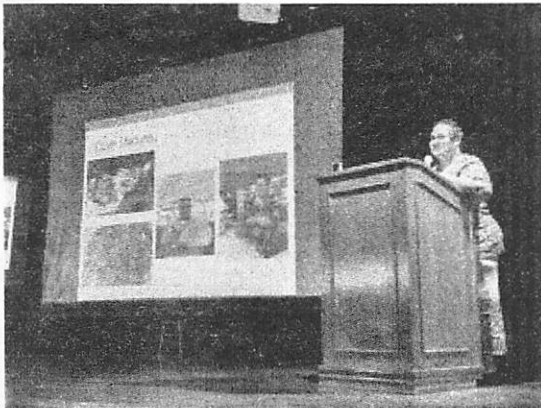
●6月16日 リーセフィヨルド遊覧

6月18日 ソグネフィヨルド遊覧

ノルウェー西部にある2つのフィヨルドを遊覧します。遊覧の途中には迫力のある滝や、山間に並ぶカラフルな家々を目にすることもでき、絶景の数々をお楽しみいただけます。

プログラムディレクター 鈴木隆之

水先案内人の楽しみ方



本来、「水先案内人」(以下、水案)とは、船を港へ誘導するパイロットを指しますが、ピースボートでは船旅をより有意義なものへと導くナビゲーターの方々を指しています。

これから訪れる国や地域の専門家やジャーナリスト、各界の著名人、ミュージシャンやエンターテイナーなど、その顔ぶれは実に多彩です。各地域の文化や歴史、ニュースで見ていた世界の情勢を学べるほか、人類共通の関心ごとである健康や音楽をテーマにした企画も行われます。

本クルーズでは約30組の水案が区間ごとに入れ替わりでご乗船され、洋上の日常を彩ります。日本語だけではなく中文、韓国語、英語での講座をボランティア通訳者(コミュニケーションコーディネーター 通称:CC)の力を借りて、講座を発信しています。

日々の忙しい生活の中で、世界で起きている様々な問題に気を配る時間がなかったり、ゆっくり向き合う余裕がなかったという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。気になったキーワードを新聞で見つけたら、ぜひ足を運んでみてください。船室には、今回のクルーズにご乗船される水案の方々のプロフィール冊子をご乗船日にお渡ししました。学びを深め、新たな気づきをもたらしてくれる水案企画には、人生をより豊かにしてくれるヒントが詰まっています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

水先案内人担当 キム・ボラ

カルチャースクールまだ間に合うよ、自主企画もやってみよう

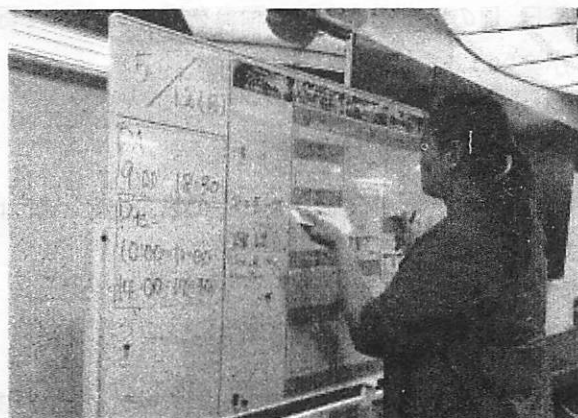
「カルチャースクール・プログラムのご紹介」

船内では「洋上カルチャースクール」が開催中です。社交ダンスではパーティーで踊れるステップを、透明水彩画では訪れた寄港地や日常の一コマを自分なりに絵で表現する楽しさを感じられます。ヨガストレッチでは、夜にたくなった体をほぐし、サルサでは陽気なリズムでステップを踏んで気分もリフレッシュ。ノルディックウォーキングでは大海原を眺めながら潮風を感じて全身運動!どの企画も、初めての方にぴったりの内容です。実は参加してみたかった方、まだ間に合います。新しい趣味や仲間との出会えるきっかけにもなりますので、皆様のご参加お待ちしております。



「自主企画のご紹介」

ピースボートならではの「自主企画」は、参加者の皆さまがご自身で企画を実施するものです。自主企画申請ひろばには、毎回たくさんの方にお越しいただき申請を受け付けています。出身地や仕事などの共通点で集まったり。皆さまがお持ちの趣味や特技、ダンス、楽器演奏、講座やスポーツ等、参加された方も多いと思います。たくさんの方が乗船されているからこそ幅広い自主企画が可能です。いろんな企画を実施して、たくさんの方が繋がれる一つの場所になれば嬉しく思います。



カルチャースクール担当 渡邊さゆり・中町竜之介 / 自主企画担当 関美衣

参加者紹介



今回の紹介するのは、陳素蓮さん(左:チン スレンさん)と李枝福さん(右:リー シ フさん)ご夫婦です。

<どちらから来られましたか?>

台湾の基隆からきました。

<乗船したきっかけはありますか?>

昔からの夢が世界一周で偶然ピースボートと出会いました。40年間働いて退職後に乗船をしました。船旅は荷物を置いておけるので楽なことで、行きづらいところに行けるのが良いですね。

<今回で何回目の乗船ですか?>

今回で3回目の乗船です。2回目の乗船の時に、金婚式(結婚50周年)で船内でお祝いもしてもらいました。以前は、南半球のクルーズに乗船したので、今回は北半球のクルーズに乗れて嬉しいです。

<今クルーズでの楽しみはありますか?>

新しい友達ができることですね。人と人とのつながりができることは大切です。

<船内は普段どうやって過ごされてますか?>

毎日、日の出や日の入りの写真を撮っています。寄港地でも写真を撮り、それに音楽を合わせて動画を作ることが楽しいです。

<最後にメッセージをどうぞ!>

健康第一で、ゆっくり楽しんでこの旅を過ごしましょう。

イベントガイド担当 武田詩歩

旅する視点・時間の捉え方

みなさんは、どんな想いでこの旅に出ましたか?「あの絶景をこの目で見たい」「異国化に触れてみたい」など。旅の理由は十人十色。本船は出航以来、6つの寄港地を巡り、北半球から南半球へ。気温差25℃を超える日もあります。現地の食文化、服装、習慣の違いに驚かれた方も多いでしょう。

「海外は時間にルーズ」と感じる場面もあるかもしれません。料理を注文して1時間待つこともあります。現地では“会話を楽しむ時間”。これも貴重な文化体験です。

「郷に入っては郷に従え」

ちょっとした不便さも、後で笑って話せる思い出に。時計をしまって、現地のリズムに身を任せてみましょう。ゆっくり流れる時間こそ、旅の醍醐味だったりします。

メディアディレクター 磯部弥一郎